

荒野にて

マナ、ウズラ、水



出エジプト記 16 - 18

第8課: 荒野にて

マナ、ウズラ、水

聖書

本	著者	章	年
出エジプト記	モーセ	16 - 18	紀元前1450-1410年

概要

出エジプト記 16-18 章では、神は荒野のイスラエル人に食べ物と水を与え、マナと岩からの奇跡の水の賜物を通して神を信頼するように教えてくださいました。モーセは義父のエトロから指導力を委任し、民だけを裁く負担を軽減するという賢明な助言を受けます。

レジュメ

神の備えと導き

- イスラエルの民は飢えに不満を漏らしますが、神は彼らにマナとウズラを与えて養われます。 - 出エジ記 16:1-36
- 神は安息日の休息を重んじ、マナの収集に関する具体的な指示を与えられます。出エジ記 16:22-30
- レピディムで水不足をめぐって民が争う中、神はモーセに岩を打って水を出すよう命じられます。 - 出エジ記 17:1-7
- スラエルの民はアマレク人に攻撃され、ヨシュアが戦いを率います。モーセは杖を掲げて祈り、神の助けによって勝利を得ます。 - 出エジ記 17:8-16
- モーセの義父エトロが訪れ、指導の重荷を分担するため、有能な者に司法責任を委ねるよう助言します。 - 出エジ記 18:1-27

40年の放浪：民の不従順のゆえに、イスラエルの民は荒野を四十年間さまようこととなります。

民数記 14:33-34

要点

1. 神は、民が荒野にいるときも、奇跡によって彼らを養われます。
2. イスラエルの民は、神と共に歩むことで、予期せぬ戦いにも勝利できることを知ります。
3. 民の不従順のゆえに、イスラエルの民は荒野にとどまることになりました。